

平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ジェネリックスキル養成1 (Generic Skills Training 1)		授業コード	A032501
担当教員名	吉村 充功・市田 秀樹		科目ナンバリングコード	A10801
配当学年	1	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件	9月中旬頃の平日に1泊2日の合宿研修で実施しますので、参加できることを確認して履修してください。合宿地は住吉浜リゾートパーク(杵築市)です。送迎バスを運行します。宿泊等の費用は不要ですが、食費は実費負担です。必要なものについては、別途指示します。			
受講心得	県内の大学・短大・高専8大学の学生が合同で合宿研修を行いますので、目的意識を持って、主体的に臨んでください。			
教科書				
参考文献及び指定図書				
関連科目	ジェネリックスキル養成2、現代社会要論、社会参画入門、社会参画実習1、大分学・大分楽など			

授業の目的	課題解決型授業(PBL)やインターンシップの取り組みに参加し意義あるものとするため、また社会人として活躍するためには、ジェネリックスキル(汎用的技能)をあらかじめ高めておくことが重要です。本科目では、1泊2日の野外活動研修を通じて、経験から学ぶ力であるコンピテンシー(主体性・多様性・協働性)を養成することを主目的とします。
授業の概要	本科目は、「大分を創る人材を育成する科目」として、県内の大学・短大・高専8大学の学生が合同で合宿研修を行います。野外活動研修であるプロジェクトアドベンチャーをベースとした体系的な活動を通じて、自己の理解と挑戦、他者への理解や役割を理解し、さらにはチームとして課題に立ち向かうことの重要性を理解し、ふり返りを通じてコンピテンシー能力を高めていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1回：オリエンテーション、チーム編成 ①科目の趣旨説明 ②チーム編成、指導者紹介、基礎力チェックシート等記入 ③研修内容説明	事前資料について読み込んできてください(2時間)。
第2回：アイスブレイク チームに分かれて活動を行います(1チーム10～15名を予定) チーム活動を行うにあたってメンバーを知り、団結力を高めるため、各種のアイスブレイクを行います。	
第3回：ローエレメント研修(1) 体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)、フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)を意識したアクティビティーを行います。チームで与えられた課題の解決に取り組みます。	
第4回：ローエレメント研修(2) 引き続き、体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)、フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)を意識したアクティビティーを行います。チームで与えられた課題の解決に取り組みます。	
第5回：初日のふり返り(ビーイング) ビーイングというふり返り手法等を用いて、初日の行動をチームでふり返ります。また、翌日に向けた目標設定を行います。	当日の活動のふり返りをもとに翌日に向けた目標の整理を行って下さい(2時間)。
第6回：ローエレメント研修(3)	

前日に引き続き、体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)、フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)を意識したアクティビティーを行います。あわせて、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)を意識してアクティビティーを行います。チームで与えられた課題の解決に取り組み、自己への挑戦とチームを信頼する力を育みます。		
第7回：ローエレメント研修(4) 引き続き、体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)、フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)を意識したアクティビティーを行います。チームで与えられた課題の解決に取り組み、自己への挑戦とチームを信頼する力の総仕上げを行います。		
第8回：リフレクション(ふり返り)・全体総括 ①前日作成したビーイングへの加筆・フリプトーク ・「この研修で印象に残っている場面や瞬間」「この研修を通じて自分が学んだと思うこと」「明日から踏み出す一歩」 ②自己評価シート記入 ・フリプトークの内容をシートに記入 ・ふり返りシート、基礎力チェックシート記入		レポート課題を課します。2日間の活動のふり返りをもとに研修で得たことを今後どのように活かしていくかの目標の整理を行って下さい(4時間)。振り返り結果をその場でフィードバックします。
第9週：		
第10週：		
第11週：		
第12週：		
第13週：		
第14週：		
第15週：		
第16週：		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①各自が「他のメンバーに配慮しながら、オープンな気持ち・態度になり、課題に向き合う際に、チームに積極的に関わり、チームに貢献することが自分を成長させ、今後の様々な場面でもそれが役に立つ」と意識できる。
【知識・理解】	

【技能・表現・コミュニケーション】	②フルバリュー・コントラクト(人と良い関係を作る力、対人基礎力)、チャレンジ・バイ・チョイス(自分自身で積極的に動く力、対自己基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。
【思考・判断・創造】	③体験学習サイクル(考える力、対課題基礎力)という観点から、活動を各自がふりかえることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			30点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。				
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで動く力」「前に踏み出す力」を含む。		40点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		30点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	成果物(ふり返し資料)、レポートにより、到達目標を達成できているかを評価します。なお、成績評価の基準(ルーブリック)は当日配布します。
発表・その他(無形成果)	チーム活動での行動により、自分の役割を理解し、それに沿った行動ができているか、自分の意見を積極的に述べているかを評価します。なお、成績評価の基準(ルーブリック)は当日配布します。